

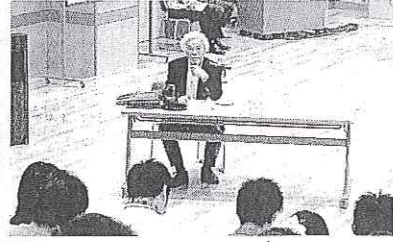
おむつゼロへ 介護方法学ぶ

鹿屋で講演会

福祉施設入所者の自立を支援する介護の講演会が9月29日、鹿屋市の池田病院であった。肝属地区の医師や福祉施設関係者ら約170人が参加。「おむつゼロ」を目指し、トイレやポータブルトイレ

での排便に切り替えるための介護方法などを学んだ。

「おむつゼロ」を提唱する国際医療福祉大学学院（栃木県）の竹内孝仁教授は、水分や栄養を十分に取ることのほか、歩行訓練の重要性を説明。全国で41番目に「おむつゼロ」を達成した特別養護老人ホーム「鹿屋長寿園」



の職員も、「実際にやってみて初めて分かることもある。まずは実践してみて」と呼び掛けた。

「おむつゼロ」を達成するための介護法を説明する竹内孝仁教授
鹿屋市下被川町の池田病院

特別養護老人ホーム「ルービンの里」（東串良町）の介護職員南千鶴さん（22）は「普段

から水分ケアはしているが、今後は歩行訓練にもっと取り組みたい」と話した。